



令和3年1月7日 ^{コロナ}567枚を超えました **660枚にて完成!**

九月にスタートして現在まで、一〇二団体のご協力を頂き、五六七枚を超え五六八枚目の写真を貼ることができました。そして二月一八日現在では六六〇枚、延べ二九二名の皆さんの顔が、ギャラリーに展示中の作品全体に広がっています。五六八枚目の写真は、早朝の君津中央公民館から見上げた「国際宇宙ステーション」(※)の写真でした。魚眼レンズで捉えた構図は、公民館と君津市役所と図書館の上に広がる空、そして「宇宙ステーション」さぼろの光の軌道、宇宙ステーションには野口聡一宇宙飛行士が搭乗しており、「挑戦」というテーマを掲げ、宇宙空間で様々な任務を遂行しているそうです。



(※)568枚目/国際宇宙ステーション(ISS)さぼろの軌道

568枚目の写真を目にした瞬間、「BELIEVE～ビリーヴ～」という曲が思い浮かびました。この曲は卒業式などで歌われる合唱曲の一つで歌詞の中には「たとえば君が傷ついて、くじけそうになった時は、かならず僕がそばにいて、支えてあげるよその肩を、世界中の希望をのせて、この地球はまわってる、いま未来の扉をあける時～(抜粋)」とあります。今の状況が収束し、再び公民館で自由に交流できる日がくることを信じてやみません。



発行 君津中央公民館
君津市久保2-13-2
TEL 0439(50)3980
FAX 0439(54)9888
発行責任者 川名 勲

九月にスタートして現在まで、一〇二団体のご協力を頂き、五六七枚を超え五六八枚目の写真を貼ることができました。そして二月一八日現在では六六〇枚、延べ二九二名の皆さんの顔が、ギャラリーに展示中の作品全体に広がっています。五六八枚目の写真は、早朝の君津中央公民館から見上げた「国際宇宙ステーション」(※)の写真でした。魚眼レンズで捉えた構図は、公民館と君津市役所と図書館の上に広がる空、そして「宇宙ステーション」さぼろの光の軌道、宇宙ステーションには野口聡一宇宙飛行士が搭乗しており、「挑戦」というテーマを掲げ、宇宙空間で様々な任務を遂行しているそうです。

公民館あるある川柳
ひこぼゆ三六四号(二月一七日)掲載後にご応募いただいた作品は、コロナ対策による来館者の減少、更に一月一九日から公民館が休館となったことから皆様による投票を行うことができませんでした。そこでご応募いただいた作品の中からいくつかご紹介いたします。

ひとりひとりが未来への「さぼろ」を持ちつつ、顔をあげて、今できることを積み重ねていきましょう。
第一弾、第二弾ともに、令和三年三月をもって終了とさせていただきます。あわせて川柳・写真・動画の募集受付も終了いたします。皆さんの皆様からご応募いただき感謝申し上げます。

- 声をかけ マスクとったら 知らぬ人
- 閑節も 老いて届かぬ 痒いところ
- 自粛して 学んだレシビ 老後の術
- 吹っ飛ばせ コロナインフル びんぼうも
- 目に見えぬ コロナは怖し 鬼か蛇か
- コロナ禍や ストレス暮る 虎落笛 ※

※虎落笛(もがりぶえ)
冬の激しい風が竹垣や柵などに吹き付けて発する笛のような音。

(コロナ)枚を超えよう!
活動記録動画制作)

「ひこぼゆ」企画
第一弾 「公民館あるある川柳」
第二弾 「みんなの力で五六七」